

# つながる



## 令和2年文部科学大臣表彰受賞

### 【令和2年度活動報告】

平成30年度に学校運営協議会が森田養護学校に設置されてから3年が経とうとしています。「コミュニティ・スクール」として地域との結びつきをより深めながら教育活動を展開していくことで、学校と地域それぞれが抱えている課題を共有し、その解決に向けて双方に不足している部分を補い合っていくことができます。今年度は、新型コロナウイルス感染症により、活動が制限されるなか、これまでの活動を一步二歩前進させる取り組みができました。

具体的には、日常的に行われている年間を通した授業において、地域の方々の支援による様々な活動を展開することができました。

小学部高学年の生活単元学習では「地域の祭り」を取り上げ、つがる市商工会青年部の方々の力をお借りして、児童が取り組んだ調べ学習についてアドバイスをいただいたり、実際に本校体育館で囃子を披露していただいたりしました。

また、中学部の体育の授業では、今年度から始まった武道の授業で取り組んだ「相撲」のなかで、青森県相撲協会西つがる支部の方にお手伝いをいただき、実際にまわしを締めて四股を踏んだり、すり足の練習をしたり、組み合ってみたりと本格的な内容の授業を行うことができました。その際、鱒ヶ沢町立舞戸小学校から土俵とまわしを貸していただくことで、環境もしっかり整えることができました。

さらに、中学部の作業学習の缶つぶし班が行っている空き缶の回収では、つがるロータリークラブや県立鶴田高校から空き缶の提供をしていただきました。

今年度は、学校経営方針に「授業における地域資源の活用」の内容が盛り込まれ、各学部が工夫をしながら1年間取り組んできました。このような取り組みは、令和3年度も継続・拡充していくことにしています。



小学部生活単元学習



中学部体育



つがるロータリークラブ空き缶提供 鶴田高校空き缶回収



次に、今年度新たにスタートした取り組みとして「ひまわり応援隊」の活動を紹介します。これは、本校前事務長の工藤道子さんの呼びかけにより発足した組織です。隊員は、本校在學生及び卒業生の保護者の方々、学校運営協議会委員の皆さま、そして学校近隣の方々に編成されています。現在二十数名の方に登録していただいております。主な活動は、学校敷地内の花壇の整備、学校行事の際の消毒などの支援、つがる市立図書館からの図書の貸し出し支援などがあります。いずれの活動も、本校教職員だけの力ではできるものではなく、これらのボランティアの活動については感謝の一言でしかありません。特に、図書館のない本校にとって、月1回の図書の貸し出し支援はとて有難いものでした。授業中や休み時間などに、各学部のブックトラックから本を借りていって楽しそうに読んでいる児童生徒の姿を見ると、本校の教育活動に地域の力が大いに役立っていることを実感させられます。来年度以降も是非継続して行って欲しいと思います。



学校運営協議会委員による授業参観及び評価も今年度新たに取り入れられました。新型コロナウイルス感染症の影響で、全員の委員の皆さまに参観していただくことはできませんでしたが、各学部2回ずつ、計6回の授業にお越しいただいた委員の方には、普段は見ることのできない真剣な生徒の姿や先生方の一生懸命な授業への取り組み、工夫された教材など多くの発見があったようです。



紹介しきれないものもまだありますが、3年間にわたって積み重ねてきた活動が評価され、この度、本校が令和2年度「地域学校協働活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞することができました。今年度は全国で111団体が受賞しており、このなかで、特別支援学校の受賞は本校だけ1校となっています。先日2月25日（木）にリモートによる表彰式が行われました。これを励みに、より充実した教育活動を展開できるように教職員一同力を合わせて頑張っていきたいと思っております。

